「古民家」で、お待ちしています

CHA-CHA NOTE　伊奈波
水の音 カフェ＆ギャラリー　オーナー **板倉吉数**さん　**倫子**さん

伊奈波神社界隈、金華地区。古の風情が今も残る住宅地の一角に、古民家ならではのゆるやかな時間が流れる空間が2つ、誕生しました。

ギャラリー「CHA-CHA NOTE 伊奈波」。そして水路を挟んで隣に「水の音 カフェ＆ギャラリー」。どちらも築100年を超える古民家です。

オーナーは板倉吉數さん　昭和18年生まれ、74歳。そして、妻の倫子さん。

ともすれば、新たなことをはじめるには、少し躊躇しがちになる年代であろう2人が、念願の「古民家」ギャラリー＆カフェを開業しました。

サラリーマンからギャラリーのオーナーと作家に

板倉さんはこれまでに約30年間、木材輸入商社の営業マンとして、中国、韓国、タイなどに赴任、出張を繰り返してきました。

ある時、海外から持ち帰った雑誌のなかにあった、木材に布で作られた綺麗な作品が掛けられている写真に目を奪われました。それは「ポジャギ」という名の韓国の美しい伝統工芸で作られた作品でした。早速板倉さんは、元々手芸が得意な妻の倫子さんに「作ってみてはどうか」と勧めました。

すると倫子さんはその独特な透け感、風合いにすっかり魅せられ、板倉さんが韓国へ行く際に同行し、現地で習うことを繰り返しました。

その後、板倉さんは独立して輸入会社を営むように。その頃すでに倫子さんはポジャギ作家として注目されはじめ、雑誌などの取材を受けるほど評判となっていました。

そして、JR岐阜駅に隣接するアクティブGから出店してほしいとの声が掛かり、2004年、ついにギャラリーを構えることになりました。

岐阜の作家たちが発表する機会を2人で、つくりたい

ギャラリーには倫子さんのポジャギをはじめ岐阜県内のさまざまな作家の作品が並び、店は賑やかになりました。

板倉さんはオーナーとして、さまざまな作家と接するうちに、その情熱にどんどんのめり込んでいきました。

そのなかで、この20～30年で「ギャラリー」という存在がめっきり少なくなり、作家たちの発表する場がなくなってきていることを知りました。

そんな状況を危惧し、板倉さんは機会があるごとに作品展、ワークショップなどを企画し、精力的に発表の場や交流の場をつくりました。

それでもまだまだ作品が世に出る機会は少なく、しかも今の場所での展開には限りがあるとも感じていました。

「それなら私たちが、新しいギャラリーを開こうか」

板倉さんの想いに、倫子さんは笑顔で頷きました。

「今の私たち」だから、古民家で

新たなギャラリーを探すにあたり、店舗にはどうしても「古民家」をと考えました。

そこにはこんな理由がありました。

「年齢を重ねた『今』の私たちと、古民家が重ねた年輪のような時間とが一緒になって、作家たちの作品を「まるごとつつみたい」と思ったからです」

板倉さんは、理想の古民家を求め、市内近郊のあちらこちらに出かけました。

そして昨年末、「やっと出会えた」のがこの2軒並んだ古民家でした。

「一目ぼれ」だったというこの家。

それは、内装に現代風な手が一切加えられておらず、以前住人が暮らしていた趣がそのまま大切に残された、まさに「古民家」そのものだったからです。

2人はこの2軒を、1軒はギャラリーに。そしてもう1軒を、カフェ＆ギャラリーにしようと決めました。

近年、この金華地区には若い創業者や新たな展開に取り組む店などが次々出店しています。

そんな界隈の「今」の流れにも「私たちらしく、一緒に歩んでいきたい」と、語ります。

古民家が、想いを「繋ぐ」

ギャラリーのオープニングには、「繋ぐ」というタイトルの企画展を開催。

2人と、縁あった作家たちとの、共通の想いです。

カフェでは、板倉さんは海外赴任時代に学んだお得意の「中国茶」を。倫子さんは、自慢の手料理をふるまいます。

器には、ギャラリーで展示販売しているものを積極的に使います。それは2人の「この器はこんな風に楽しめますよ」とのデモンストレーションでもあります。

先日、カフェを訪れた方からこんな声をかけられました。

「なんだかとっても居心地がよくて、幼馴染の家にでも、遊びに来たみたい」と。

古民家のゆるやかな時間（とき）が、2人と訪れた方々を繋ぎます。

ギャラリー「CHA-CHA NOTE」の「NOTE」には、「記す」という意味が込められています。

カフェ「水の音」は、「みず・のおと」―。ここにも「NOTE」の韻が踏んであります。

「ここを訪れた人たちの心のひとときに、何かを『記す』ことができたら」

そんな思いが込められています。

春爛漫の空のもと、

板倉さんと倫子さんは

新しい「NOTE」を開き、

時間（とき）を重ねた「古民家」と

訪れた人たちの笑顔とともに

ここに、記しはじめました。

CHA-CHA NOTE　伊奈波
岐阜市朝屋町24　Tel.058-201-0122
水の音 カフェギャラリー
岐阜市新桜町12番地 Tel.058-201-0122